山形大学
Yamagata University

卒業生等首都圏ネットワーク

山形大学ナスカ研究の過去・現在・未来

卒業生等のための平成29年度特別講演会

©山形大学ナスカ研究所

山形大学では、ユネスコの世界文化遺産「ナスカの地上絵」に関する学際的な共同研究を2004年から取り組んでいます。いつ、誰によって、何のために、どのような方法で、地上絵は制作されたのかという謎をめぐって、様々な説が主張されてきました。

今回の講演では、これらの謎の解明に、山形大学がどのような貢献をしてきたのかについてお話するとともに、破壊の危機に瀕している地上絵を保護するために、山形大学が取り組んでいるプロジェクトを紹介します。また今後の研究の展望についても触れる予定です。

日　時

平成29年
12/16（土）
13:45〜14:45

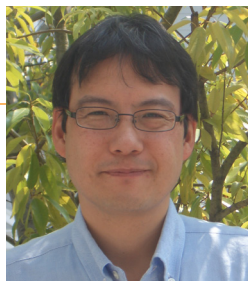
会　場

山形大学
東京サテライト
国際会議室（1階）

住所　東京都港区芝浦3-3-6
キャンパスイノベーションセンター

講師

坂井正人 氏
（山形大学教授 人文社会科学部担当）



1963年千葉市生まれ。1996年東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学。同年山形大学人文学部助教授、2009年山形大学人文学部教授。2013年同学部附属ナスカ研究所副所長。現在、山形大学教授人文社会科学部。専門は文化人類学、アンデス考古学。著書・編著にReyes, Estrellas y Cerros en Chimor. (Editorial Horizonte)、『ナスカ地上絵の新展開』（山形大学出版会）、『ラテンアメリカ』（朝倉書店）などがある。

※本講演会は「卒業生等首都圏ネットワーク」の事業として実施するものです。なお、山形大学の卒業生等はどなたでも無料で参加することができます。